

ごみコミえべつ

買い物には
マイバックを持って
レジ袋を減らしましょう

新年あけましておめでとうございます。

日ごろから、市民の皆さんの地域環境を守る取組みに深くお礼を申し上げます。

本年も引き続きごみの減量と資源化に、ご協力をお願い申し上げます。

2007(平成19)年 元旦

発行 / 江別市

〒067-0051 江別市工業町14番地の3
企画・編集、お問い合わせ /

環境室廃棄物対策課

TEL 383-4196 FAX 382-7240

ホームページ

<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>

第27号 平成19年1月1日

ごみの減量が進み、リサイクル率は向上しました

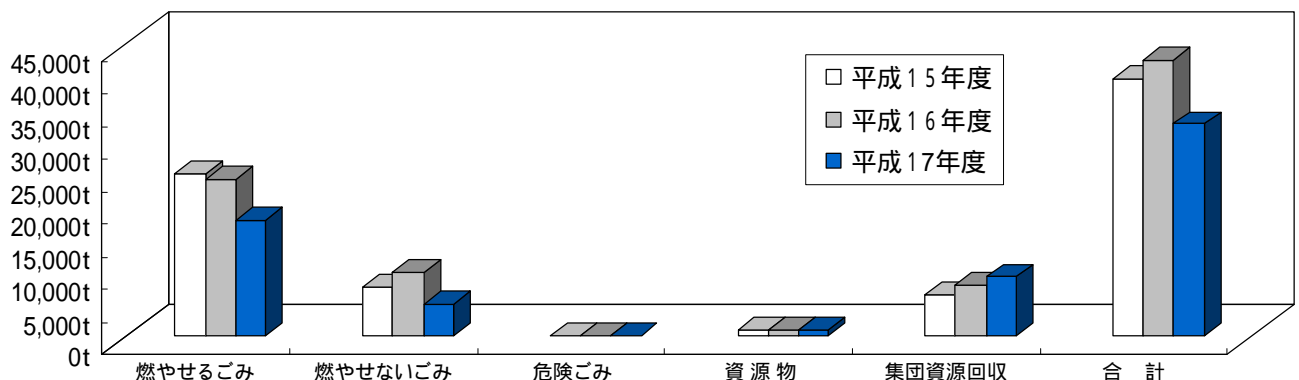
平成16年10月に家庭ごみが有料となってから、2年が経ちました。有料化直前に燃やせないごみ排出が一時的に増えましたが、その後、ごみの収集量(下の図・グラフ参照)は減少し、家庭ごみの総量では15年度を100としたとき、17年度では82と大幅に減量しました。一方で、びん・かん・ペットボトルなど資源物の収集と地域の集団資源回収が増えたため、リサイクル率は約30%と向上しました。

家庭ごみ等の収集量の推移

(単位:トン)

	燃やせるごみ	燃やせないごみ	危険ごみ	資源物	集団資源回収	合計
H15年度	24,994 (100)	7,505 (100)	0	818 (100)	6,272 (100)	39,589 (100)
H16年度	24,087 (96)	9,694 (129)	20	864 (106)	7,779 (124)	42,444 (107)
H17年度	17,716 (71)	4,898 (65)	47	901 (110)	9,002 (144)	32,564 (82)

()内は、有料化前のH15年度を100として比較した数値



Q & A ごみ処理券について わからないことにお答えします。

Q 1 指定ごみ袋に入らないごみの処理に、「ごみ処理券を貼って処理してください」といわれますがごみ処理券はどこで扱っているのですか？

A 1 ごみ処理券は指定ごみ袋を取扱っているお店にあります。ごみ処理券は金券のため指定ごみ袋のように陳列していませんので、店員さんに「ごみ処理券が欲しい」と声をかけてください。

Q 2 自転車など1mを超える大きさのごみを出すときに、「240円分のごみ処理券が必要です」といわれますが、80円分のごみ処理券しかありません。ごみ処理券は組み合わせて使用してもいいのでしょうか？

A 2 ごみ処理券は、「80円分」「160円分」「240円分」の3種類に区分しています。ごみの大きさに見合った金額になるように組み合わせてお使いください。240円分の場合は、80円分のごみ処理券を3枚貼るか、80円分1枚と160円分1枚のごみ処理券を貼って、燃やせないごみの収集日にごみステーションに出してください。

例 240円の場合

240円分を1枚貼る



80円分を3枚貼る



80円分1枚と160円分1枚を貼る



Q 3 宅配便などで冷凍保存用に使われている発泡スチロール（白色トレイは除く。）の箱は、1箱ごとや箱の大きさに見合ったごみ処理券を貼って出すのでしょうか？

A 3 発泡スチロール類は積み重ねて紐などで縛ってまとめて出すことができます。ひとまとめにする場合は最長部の長さでごみ処理券の金額が異なります。積み重ねて紐などで縛ってごみ処理券を貼って出してください。

Q 4 枝木や解体した木製本箱などは、どこにごみ処理券を貼ればいいのでしょうか？

A 4 ごみ収集業者が、ごみ処理券を貼ってあることが分かるような状態にしてあれば貼り方については特に決まりはありません。束ねた紐の上か、枝木や廃材のどれかに巻きつけるように貼ってください。剪定した木の枝や解体した廃材などは長さ1m以下、1本の木の直径10cm以下のものをまとめて直径50cmまで1束にして80円分のごみ処理券を貼ります。

Q 5 割れたビンやガラスなどを指定ごみ袋に入れると袋が破れそうなので、ダンボール箱に詰め替えて大きさに見合ったごみ処理券を貼って出したのに収集されませんでした。なぜでしょうか？

A 5 ダンボール箱などの中にごみを入れてごみ処理券を貼って出すことはできません。割れたびんやガラスなど、指定ごみ袋に直接入れると破れてしまうような場合には、新聞紙などで包んでから指定ごみ袋に入れる。他の袋にいったん入れて袋ごと指定ごみ袋に入れる。ダンボール箱ごと指定ごみ袋に入れる。

詳細・お問合せは廃棄物対策課（電話 3 8 3 - 4 1 9 6）へ

ごみステーションは、ごみステーションを利用する地域の皆さんが場所を決めて管理しています。ごみステーションの新設・移動等の場合は、廃棄物対策課にご連絡ください。

冬期間における ごみ・資源物の出し方

吹雪や大雪のときは次回の指定収集日に

吹雪や大雪の時は、収集車両がごみステーションに近づけず、収集作業ができないことがあります。このような場合は、次回の指定収集日にごみステーションに出すようご協力ください。

収集日の朝にごみステーションへ

収集日の前夜にごみを出されると、早朝の除雪作業などの障害になります。雪に埋まったり、通行車両などに踏みつけられて飛散したりします。美観を損ねるばかりでなく、衛生上も問題があります。ごみや資源物は、正しく分別し、出し方に注意をして収集当日、必ず朝9時までに、決められたごみステーションに出しましょう。

収集日以外にごみや資源物を出したり、収集されないごみ（指定ごみ袋及びごみ処理券を使用していないもの・排出禁止物）は、収集しませんので、通行の妨げや近所の迷惑になりますので、絶対にやめましょう。

詳しくは、「ごみと資源物 分別の手引き」「収集日カレンダー」をご覧ください。間違いのないようにご協力ください。

ごみステーション周辺の除雪を

ごみステーションは、ごみステーションを利用する皆さんが自主的に管理する場所です。ごみステーション周辺の除雪は、利用するみなさんが協力し合って行いましょう。

排雪に伴うごみの出し方

自治会や地域が行う

排雪作業時のごみの出し方

ごみステーションの収集日が自治会や地域で行う排雪作業と重なる場合は、ごみ収集車が収集路線に入れなかったり、ごみの収集が遅れたりすることがあります。

なお、収集日に排雪作業を予定する場合は、臨時にごみステーションを移動する場合には、事前に環境室廃棄物対策課と協議・調整をされるようお願いいたします。

収集作業の支障にならない場所にごみステーションを移動するか、または、排雪作業日にはごみを出さないように地域の皆さんのご協力をお願いします。

ごみは

収集日当日の朝 9 時
までに出しましょう

今すぐ実行できる **3 R** 暮らしの中でごみを減らす工夫を

- リデュース(減らす) - ごみを出さない工夫をしましょう -
一つのをなるべく長期間使用することで、ごみを少なくできます。古くなったり故障した家具や電化製品を修理サービスを受けたり部品交換して長く使うことです。
- リユース(再利用する) - まだ使えるものは有効利用しましょう -
ビールびんや牛乳びんなどは、洗ってお店に返却すれば、繰り返して使うことが可能になり、新しいびんを作らなくてもよいので、リサイクルをするよりも環境への負荷が減少します。
- リサイクル(再資源化する) - 貴重な資源を無駄なく活用しましょう -
新聞、雑誌、ダンボール、スチール缶、アルミ缶、ガラスびん、ペットボトル等の分別回収を徹底することで、リサイクルを一層促進することになります。

不法投棄は罰せられます

廃棄物を不法投棄すると、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律に」より、厳しい罰則が科せられます。不要なものは適正に処理し、美しいまちづくりを進めましょう。

生ごみは 水切りして 出しましょう。

～生ごみダイエット～

市で収集する「燃やせるごみ」の中には生ごみが一番多く含まれ、生ごみの90%近くが水分です。家庭ごみ有料化を実施後、市民の皆さんのご協力によりごみの減量化が進みましたが、生ごみの水分を切ることでさらにごみを減らすことができ、ごみ袋も軽くなり、液だれ等によるごみステーションの汚れも少なくなります。

生ごみの臭いを出さない方法

生ごみをビニール袋に直接入れると腐敗して悪臭が出ます。

くずかごはふたをしないで、ごみ袋を入れ、その中に新聞紙やチラシなどを敷き、野菜くずや果物の皮などを入れると、空气中で水分が蒸発して乾燥するため臭いが出ません。

カニの甲羅や魚の粗などは、新聞紙に包んでビニール袋などに入れて臭いを出さない工夫をしましょう。

食材は、必要な分だけを買って、食べ残しのないようにしましょう。



生ごみの堆肥化って
難しいのかな？

水切りの方法

料理しながら調理くずを流しの中に置いたままにしておく水道水で濡れてしまいます。

乾燥している生ごみは、濡らさないようにしましょう。

茶や野菜くずなどは、太陽に当てると水分を約30%減らすことができます。

茶がらなどは、「ぎゅっ」と手で絞ってくずかごへ捨てましょう。

スイカやメロンなどの皮は、できるだけ小さく切ると水切りがよくなります。

生ごみの有効利用

市では、電気式生ごみ処理機の購入費の一部助成とダンボール式堆肥化モニター事業を行っています。コンポスターや生ごみ処理機を使って堆肥作りをしましょう。

地球にやさしい買い物を始めませんか

買い物時にはマイバックを！

私たちの暮らしが便利になった分、ごみが増えて地球にも負荷がかかるようになりました。

買い物の際に貰うレジ袋もごみになり、処理費用がかかります。私たち一人ひとりができる小さなことから地球にやさしい買い物を始めてみませんか。

買い物時にはマイバッグを持参しましょう。



ごみ・リサイクルの出前講座

お茶の間でごみについて考えて見ませんか

市では、ごみについて市民の皆さんと一緒に考えていただくために、ごみ・リサイクルに関する出前講座を行っています。

自治会や女性団体、学校など、各種グループの学習会などに職員を派遣しています。概ね10人以上のグループで、ごみの分別・減量化、リサイクル、生ごみの堆肥化など、テーマと日程、場所などを決めてお気軽にお申し込みください。

詳細は、減量推進課（電話 383 4211）へ

ごみの減量化は、地球環境への負荷を減らすとともに、ごみ処理に係る経費を節減できます。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。